

ありました。水が滝のように流れ周囲には犠牲者の名前が刻み込まれていました。そしてサイバーツリーと呼ばれる唯一生き残ったとされる木も見学、13年前にてテレビ報道でしか見る事の出来なかった惨劇の場所に立ち、犠牲となった多くの方への鎮魂の祈りを生徒とともに捧げることができました。

そして、ニューヨークの中華街での昼食。その後は国連本部の見学、本部に勤める日本人と韓国人2人の女性からの的を得た説明、お二人の優しく、それでいて凛然と説明をされる姿に国連で働いてみたいと思う生徒がいたのではないかと思います。見学後は一旦ホテルで休憩。夕食はエビ料理で有名なBUBBA GUMP（映画：フォレスト・ガンプをテーマにした店）でエビ料理を堪能。そしてアメリカ最後の夜は、ミュージカルの本場ブロードウェイで「アラジン」を鑑賞。多く観客が笑う中、シーンとしている生徒席、みんな楽しめているのかと心配になりましたが、見終わった後の感想を聞いてみると、「言葉は解らなかったけど、物語の内容は知っていたし、豪華な会場の雰囲気そして演出の素晴らしさに感動しました。」との感想に、貴重な経験をすることができたのだと思いました。

多くの人で賑わうタイムズスクエアを通るホテルまでの帰り道、生徒達はビル壁面の巨大スクリーンに映し出される映像や路上パフォーマンスに目を奪われながらも、人、車、ビル、にぎやかな夜のニューヨークを堪能しているようでした。引率者はどうだったかと言えば、人混みのなか生徒が迷子にならないようにと周囲に気を配るのに必死、その甲斐あってか全員無事にホテルへ到着することができました。これで今回の海外派遣研修の活動はすべて終了となり、明日はいよいよ帰国となります。



9. 帰国の日 8月21日(木)

9日間滞在したアメリカともいよいよお別れ、みんなそれぞれの思い出を胸にラガーディア空港へ。出国手続きを済ませ飛行機を乗り継ぎ、15時30分デトロイト空港から12時間のフライトを経て、17時25分（日本時間）中部国際空港へ到着。大変お世話になった泉添乗員さんに感謝とお別れのあいさつをし、バスにて八百津へ。20時00分ファミリーセンター到着。保護者の方を始め多くの方の出迎えのなか解散式。式典では、団長として全員無事に帰国することが出来たとの報告をすることができ、共に引率して下さった先生方、そして生徒達に感謝です。

今回の研修を通じて生徒達が得たものは、一生の宝になるものと思います。

今すぐ研修の成果を求めることはできませんが、参加した生徒全員の将来の夢や希望の糧に必ずなるものであると確信しています。

そして、ホロコースト記念博物館での経験、杉原千畝氏の勇気ある行動、人の命の尊さはしっかりと生徒達の心に刻まれ、戦争の無い平和の尊さを正しく理解できたのではないかと考えております。

最後にこのような研修の機会を与えてくださった吉田茂様を始め、関係者のみなさまに深く感謝申し上げるとともに、この事業が今後も継続して実施されることを願い、私の研修報告とします。